



## 週報 第3051回

会長 中 透 副会長 上田 秀朗  
幹事 杉本 憲一 SAA 瀧谷 達

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津  
TEL 0725-20-1121  
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501  
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org  
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



泉大津ロータリークラブ  
Izumiotsu Rotary Club



### 今週の例会(2019年11月8日)

#### ■ プログラム

卓話担当 小門 茂樹 会員

#### ■ 次週のプログラム

11月15日: クラブフォーラム  
森口 和信 ロータリー財団委員長

#### ■ 今後の予定

- 11月22日: 卓話講師 大阪信用金庫 泉大津支店長 畔川 隆 様 「今後の金融機関における取組」
- 11月29日: 卓話講師 石原 成昭 様
- 12月6日: クラブアッセンブリー(職業奉仕)

#### ■ 祝 誕生日

なし

#### ■ 今月のロータリーソング

我等の生業

#### 今月の歌

ふるさと

うさぎ追いし	かの山
小ぶな釣りし	かの川
夢は今も	めぐりて
忘れがたき	ふるさと

#### ■ 先週の例会

##### 会長の時間

「日本の世界遺産総まとめ」  
7月に百舌鳥・古市古墳群が世界遺産になり地元堺市は歓喜に沸きました。これで日本にある世界遺産は文化遺産が19、自然遺産が4の合計23になりました。しかし、過去に認定された物の名前は記憶の彼方に忘れ去られていないでしょうか？そこで年代順に列挙します。



中 透 会長

- 1993年文化遺産 法隆寺地域の仏教建造物
- 1993年文化遺産 姫路城
- 1993年自然遺産 屋久島
- 1993年自然遺産 白神山
- 1994年文化遺産 古都京都の文化財
- 1995年文化遺産 白川郷・五箇山の合掌造り集落
- 1996年文化遺産 原爆ドーム
- 1996年文化遺産 厳島神社
- 1998年文化遺産 古都奈良の文化財
- 1999年文化遺産 日光の社寺
- 2000年文化遺産 琉球王国のグスク及び関連遺産群
- 2004年文化遺産 紀伊山地の霊場と参詣道
- 2004年自然遺産 知床
- 2007年文化遺産 石見銀山遺跡とその文化的景観
- 2011年文化遺産 平泉—浄土を表す建築・庭園及び考古学的遺産群
- 2011年自然遺産 小笠原諸島
- 2013年文化遺産 富士山—信仰の対象と芸術の源泉
- 2014年文化遺産 富岡製糸場と絹産業遺産群
- 2015年文化遺産 明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業

## IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3051回

②2016年文化遺産 ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献  
②2017年文化遺産 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群  
②2018年文化遺産 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産  
③2019年文化遺産 百舌鳥・古市古墳群  
以上幾つ思い出させたいでしょうか？国内にもこんなに見るところがあることを僕も再認識しました。

**幹事報告** 杉本 憲一 幹事  
○メールボックスに新しい名札を入れさせていただいております。古い名札は記念にお持ち帰り下さい  
○本日の週報裏面の下に、SMB C日興証券の方から、当日配布した資料にまちがいがありましたということで、訂正を載せさせていただいております  
○本日例会終了後、理事役員会を開催します

**委員会報告**  
○本年度は3年に一度のクラブ定款・細則の改正の年度に当たっております。泉大津ロータリークラブホームページのニュースインフォメーションの「標準ロータリークラブ定款掲載」をクリックしていただく、標準クラブ定款と推奨クラブ細則が載っております、是非ともご覧いただきたいと思ひます (上田 秀朗 副会長)  
○来週例会終了後、会員増強委員会を開催します (松村 泰英 会員増強委員長)

#### ■ ビジター

なし

#### ■ 出席報告

会員数41名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
11/1	31名	10名	—	75.61%
10/4	32名	9名	3名	85.37%

#### ■ メークアップ

榎本(10/10 高師浜RC)  
西田(10/18 親睦活動委員会)  
植村(10/10 和泉南RC)

#### ■ ニコニコ箱

- 楠本さん、卓話よろしくお願ひします。吉本先生ゆっくりしてってください(中)
- 楠本会員、本日卓話よろしくお願ひします(杉本)
- 楠本さん、本日卓話よろしくお願ひ致します(瀧谷)
- 楠本様、卓話楽しみにしております(深井)
- 中会長、ありがとうございます。植村さん、ありがとうございます。地区ゴルフ飛賞ありがとうございます(上田)
- 欠席のおわび(高寺)
- 地区大会欠席のおわびと誕生日お祝いの御礼です(川端)
- 欠席のおわび(根尾)
- 早退のおわび(松内)

ニコニコ箱合計	17,000円
累計	255,000円

#### 先週のプログラム



卓話担当 楠本 竜也 会員

みなさんこんにちは、楠本モータース代表取締役を務めております、楠本竜也と申します。まずは、RCのお昼の定例会になかなか参加出来ない事をお詫び申し上げます。前回は私の履歴書として自分の事を話させていただきましたので、本日は当社楠本モータースの事を紹介させていただきたいと思ひます。

私も今回の卓話に当たって、改めていろいろ古い資料などを見て新しく知った事実などがあり、非常に勉強になったというか、自社の歴史を知ること、毎日の仕事に対する気合がまた改めて入った感じで良い経験となりました。今日は写真を多めに持って来ましたので、ご覧ください。これは、まずは現在の弊社でございます。スバル車の販売今日両店として、松之浜町のヤマダ電機の隣り、イモ膳の向かいにあります。今は、私の父と私の二人で経営しています、私が代表取締役としては3代目となります。

さて、我が社は戦前に祖父、楠本素一により自動車関係の仕事を一手に請け負う会社、平たく言うと自

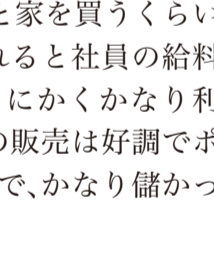
動車屋さんとして創業されたそうです。祖父は大東亜戦争に3度？4度だったか出兵し無事に帰還しました。大阪市内の戦火を逃れて、この泉大津に楠本モータースを移したと聞いています。これが祖父の写真です。祖父は60歳歳で他界しましたので、私は実際には半年ほどいっしょに過ごしたはずなのですが、記憶にはありません。生きていてくれたらいろいろ聞きたいこともあったのにと、思うとすこし寂しい気持ちになります。祖父を知るお客様や友人の方からいろいろ伝え聞いて、どんな人物だったのか勝手に想像して楽しんでいます。



一番古い写真では、昭和32年ごろ1957年ごろに、すでに現在の位置に工場と住居兼事務所が出来ていることがわかります。写真はこちらです。当時はマツダの総販売店として泉大津では一番早くというに出来た車屋さんだったそうです。販売は泉北地区全部ということでもかなり広い地域で販売していたようです。今でいう泉州地域の北半分くらいかと思ひます。当時の車は高価で、今で言うのと家をかうくらいの値段がしたそうです。一台売れると社員の給料の3か月分だったか。それから、とにかく好調でポンポン売れたと聞いていますので、かなり儲かっていたのでは？と思ひます。



ということで、数年後には会社を大改装しています。手前に増築してちょっと綺麗な会社とイメージになりました。このときすでに今のわが社の原型は出来上がっていて、建物の形などはほぼこのまま現在まで続いています。当時の工場の中ですが、三輪トラックと4輪自動車がたくさん入っています。昔の車はよく壊れたらしいので、修理は多かったと思ひます。ただ、構造は簡単だったので部品の交換などはやりやすかったらうと思ひます。この時期は車のリフトなど無くしてジャッキアップして地面に寝転んで作業しているようです。しばらく前に放送してい



た朝ドラのまんぷくでは、泉大津で安藤百福さんが塩を作っていたというシーンがありましたが、そこに三輪トラックが写っていましたので、もしかしたら当社から納めた車両だったかも知れませんが、あくまで想像ですが、泉大津市内では繊維産業が盛んでしたので、トラックの需要はすごかったと聞いています。まとめて数台納めてくれとか、大忙しだったようです。



昭和36年、1961年に祖父と祖母が東京へ行っている写真がありました。どこに行っていたのかと聞いて、どうやらRIの年次大会が開催されていたようです。私の祖父はロータリークラブのチャーターメンバーと聞いているのですが、事務局に問い合わせたところ、資料は無いということで、確認は取れていませんので(当社調べ)となりますが、RCのメンバーだったことは確かなようです。そういったご縁もあって、今私がここで話出来ることは感慨深いものを感じます。



そのころ、楠本モータースは社員が20名ほどいたようです。当社で技術を身に付けて独立していった方も多かったと聞いています。今現在、ちょうどこの時期に独立した人たちが高齢になり、世代が交代していき続ける時期だと思います。次の経営者に会社を引き継ぐ人もいれば、自分の店で閉めるという話も聞きます。今回、会社の歴史を順番に追ってみるとやはり時代の流れと、世間の状況などが刻々と変化する様がよくわかり、自動車産業にとって今は右肩下りの状況なんだと改めて実感しました。

当時調子の良かった当社は、会社の野球チームまであったみたいです。この写真も初めて見ましたが、ユニフォームにKUSUMOTOと入って面白いなと思ひました。帽子にKと入っているのも、個人的には祖父の勢いが感じられてとても良いと思ひます(笑)

時は流れて、昭和43年、当社はいすゞ自動車と提携して融資を受けお店を改装したらしいです。マツダの総代理店をしていたんですが、マツダが自社ディーラーの販売網を作ることにしたみたいで、当社はその時、使っていた電話番号やマツダか

## IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3051回

ら任されていた仕事など切り離して、民間の自動車整備工場になったようです。この時祖父はマツダと別れて自分で会社をやっていくと決めたようです。いろいろ聞いた情報と推測なので、どうしてもその判断になったのか詳しくは本人に聞きたいところですが、たぶん上からいろいろ指示されるのが嫌だったのかな？と想像しています。ちなみに嫌だって行ったマツダは想像に我孫子にあるマツダの今は整備専門店になっていると聞きましたが、これも自社調べとさせていただきます。

いすゞの営業マンは熱心だったらしいのですが、付き合いはすぐに薄くなって、だんだんスバルの取り扱が増えって行ったようです。昭和44年の写真はスバルの初代R2の展示試乗会をしてい風景が写っていました。いすゞも乗用車ではマイナーなメーカーなのに、次にスバルでまた、マイナーなメーカーと仲良くなるんだな？と思ひて見ていました。

会社の周りにはスバル360が数台路駐してある写真もあり、当社もいろいろなメーカーと付き合いながら営業してきたんだと、いろいろ苦勞があったらうなと、私も会社を引き継いで10年になりますので、簡単に想像できました。

昭和51年、この年に私は生まれたんですが、会社の名前入りの軽トラックを仕入れたようです。派手に社名が入っていて昭和のセンスを感じます。このころには、スバルの自動車販売代理店になっていたようです。何となく現代に近づいてきた雰囲気が出てきました。

祖父は昭和52年に他界するのですが、60歳の若さでした。その後、祖父の息子が長男の、私にとっての叔父が代表取締役になり、会社を法人にしたそうです。私の父は専務ということで整備関係を一手に引き受けて二人で祖父の後の会社を盛り立てて行ったと聞いています。このころはまだ車は良く売れたそうです。

昭和58年、道路の舗装は一気に進んだようです。車の業界の状況としてはだいたい車が市民に行きわたり、以前のような勢いで売れなくなってきたころだと思ひます。どこの業界もそうだと思いますが、物が飽和すると売るために安くしたり、種類を増やしたりそういう方向に進むんだと思ひます。写真からは、スバルの看板が追

加され、お店の前には原付かな？バイクも置いてあるのが見えます。このころ置くにOKゴルフクラブが見えますね、懐かしいです。子供のころ連れて行ってもらって、2回から玉を落として遊んだのを覚えてます。

最後に、看板を架け替えたのは昭和61年でした。その架け替え工事の様子なども写真に取ってありましたが、完成図をこちらに持って来ました。もう今と全く同じですね。このように



当社は祖父、楠本素一が創業し、息子の楠本英男が2代目として引き継ぎながら、趣味がカメラだったのでいろいろな写真をみせてもらうことが出来ています。父と二人で楠本モータースを運営してきた叔父の楠本英男は、昨年亡くなります。今は私と父の二人で何と元元氣にやっております。ただ、一通り見て思うのは、3代目として会社を任せて貰えた有り難さと、すでに10年経営しているのにほとんど横ばいな売り上げに情けない気持ちになったり、思うところはありますが、現在の責任者である私が時代をよく見て会社の舵を切って行きたいと思ひます。

本日は貴重な機会をいただきありがとうございます。ありがとうございました。

